

119番に電話をかける

となりの家が火事です。
Tonari no ie ga kajidesu.

119番に電話をかけて、
Hyakujukyuban ni denwa o kakete,

消防車をよびましょう。
Syobosya o yobimasyo.



あなた：(119番に電話をかける) もしもし。
Moshimoshi.

消防署：はい、119番玉名消防署です。
Hai, hyakujukyuban Tamanasyobosyo desu.
火事ですか、救急ですか？
Kaji desuka, kyukyu desuka?

あなた：火事です。
Kaji desu.

消防署：場所はどこですか？
Basyo wa doko desuka?

あなた：玉名市〇〇町12番地です。はなまる公園の近くです。①
Tamanashi〇〇machi juni banchi desu. Hanamarukoen no chikaku desu.

消防署：何がもえていますか？
Nani ga moeteimasuka?

あなた：となりの家です。②
Tonari no ie desu.

消防署：あなたの名前と電話番号を教えてください。
Anata no namae to denwabango o oshiete kudasai.

あなた：名前は〇〇です。
Namae wa 〇〇 desu.

でんわばんごう

電話番号は080-1234-5678です。③

Denwabango wa zerohachizero-ichinisanyon-gorokunanahachi desu.

しょうぼうし

消防署：わかりました。すぐにしゅつどう

Wakarimashita. Sugu ni syutsudoshimasu.



ごく
【語句】

- しょうぼうしゃ ひ け くるま
・ 消防車…火を消す車
- しょうぼうし しょうぼうしゃ きゅうきゅうしゃ ところ
・ 消防署…消防車や救急車がある所
- きゅうきゅう びょうき ひと ひと はや
・ 救急…病気の人やけがをした人を早く
助けたり、なおすこと
- しゅつどう い
・ 出動する…「今から行きます」ということ



おとこ こ
男の子がたおれています。
Otoko no ko ga taoreteimasu.

ばん でんわ
119番に電話をかけて、
Hyakujukyuban ni denwa o kakete,

きゅうきゅうしゃ
救急車をよびましょう。
Kyukyusya o yobimasyo.



あなた：(119番に電話をかける)もしもし。
Moshimoshi.

しょうぼうしょ ばんひとよししょうぼうしょ かじ
消防署：はい、119番人吉消防署です。火事ですか、
Hai, hyakujukyuban Hitoyoshisyobosyo desu. Kaji desuka,
きゅうきゅう
救急ですか？
kyukyu desuka?

あなた：きゅうきゅう
救急です。
Kyukyu desu.

しょうぼうしょ ばしょ
消防署：場所はどこですか？
Basyo wa doko desuka?

あなた：ひとよし し ちょう ばん ち
人吉市××町34-5番地です。④
Hitoyoshishi××cho sanju no gobanchi desu.

しょうぼうしょ
消防署：どうしましたか？
Doshimashitaka?

あなた：おとこ こ
男の子がたおれています。⑤
Otoko no ko ga taoreteimasu.

しょうぼうしょ ちか もく ぶつ
消防署：近くに、目ひょう物がありますか？
Chikaku ni, mokuhyobutsu ga arimasuka?

あなた：れす とらん ひとよし ちか
レストラン人吉のすぐ近くです。⑥
Resutoranhitoyoshi no sugu chikaku desu.

しょうぼうしよ
消防署：あなたの名前と電話番号を教えてください。

Anata no namae to denwabango o oshietekudasai.

あなた：〇〇です。でんわばんごう
電話番号は、090-4567-7890 です。⑦

〇〇desu. Denwabango wa, okyuzero-yongorokunana-nanahachikyuzero desu.

しょうぼうしよ
消防署：わかりました。すぐにしゅつどう
出動します。

Wakarimashita.Sugu ni syutsudoshimasu.



ばしょ
☆場所を言うときはできるだけわかりやすく、くわしく言いましょう。

【語句】

きゅうきゅうしゃ びょうき ひと じこ ひと の くるま
・ 救急車…病気の人や事故でけがをした人を乗せる車

もく ぶつ おお びる こうえん
・ 目ひょう物…わかりやすいもの(たとえば、大きなビルや公園など)

もんだい
問題

(1) 下のイラストを見て、①、②、③に書きましょう [消防車をよびます]。

① 住所(場所) : _____

② 何かもえているか : _____

③ 自分の名前と電話番号 : _____

(2) (1)でかいたことを会話文の①、②、③に入れて読みましょう。

(3) 下のイラストを見て、④、⑤、⑥、⑦に書きましょう [救急車をよびます]。

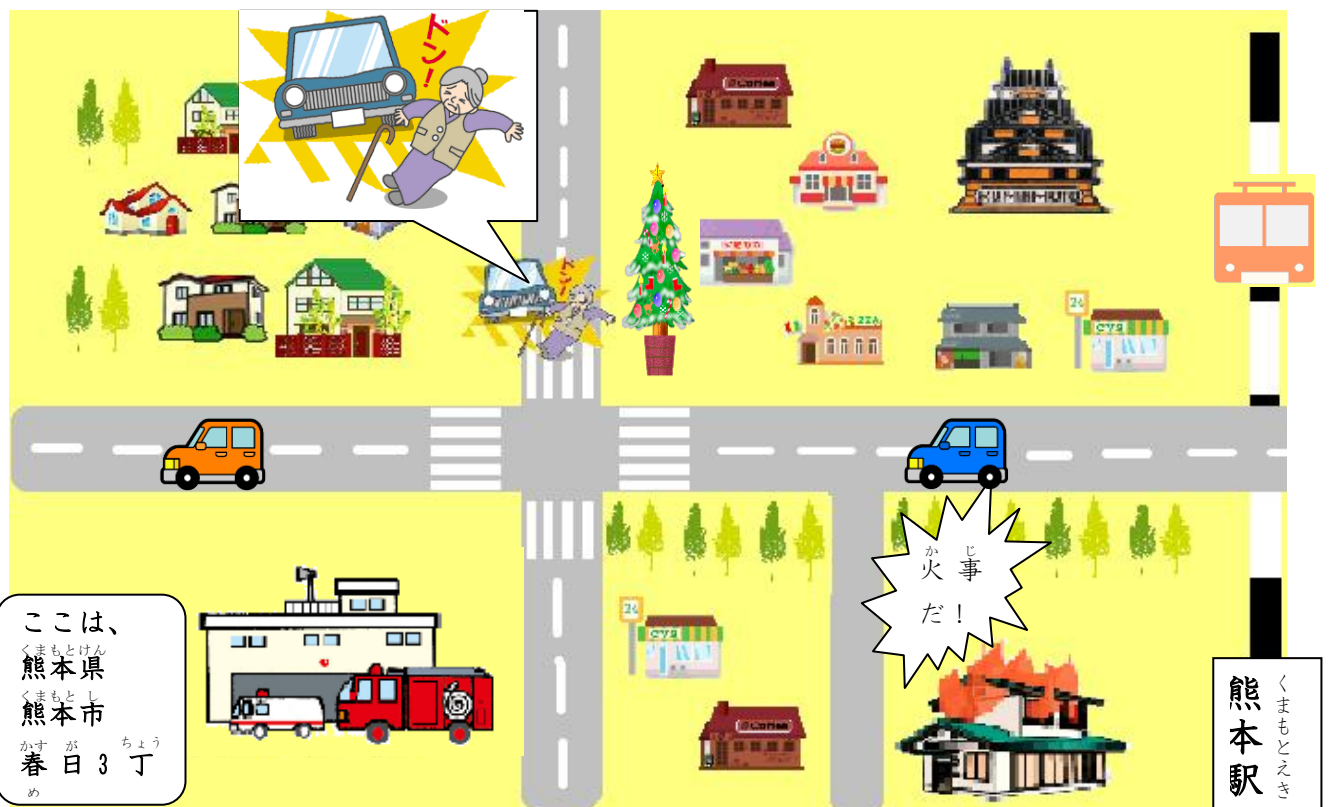
④ 住所(場所) : _____

⑤ どうしたのか : _____

⑥ 目ひょう物 : _____

⑦ 自分の名前と電話番号 : _____

(4) (3)でかいたことを会話文の④、⑤、⑥、⑦に入れて読みましょう。



場所のせつ明をするときに使えるフレーズ

- ・ ○○のとなりです。
○○ no tonari desu.
- ・ ○○の近くです。
○○ no chikaku desu.
- ・ ○○の前です。
○○ no mae desu.
- ・ ○○の左(右)です。
○○ no hidari(migi) desu.
- ・ 大きな○○があります。
Okina ○○ ga arimasu.
- ・ ○○と○○の間にあります。
○○ to ○○ no aida ni arimasu.
- ・ 近くに○○があります。
Chikaku ni ○○があります。
- ・ ○○を左(右)に曲がります。
○○ o hidari(migi)ni magarimasu.

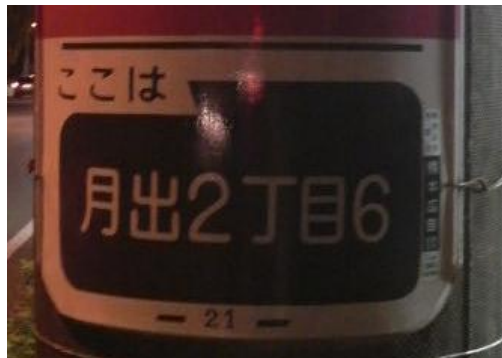
場所がわからないときには

消防車や救急車をよぶときには、「場所はどこですか?」と聞かれます。

住所がわからないときは、近くにいる人に聞きましょう。

近くに誰もいないときは、電信柱を見ましょう。

住所が書いてあります。



でんしんばしら
↑ 電信柱

119番に電話をかけるときの注意

- 1 「火事です。」または「救急です。」とかならず言いましょう。

「火事の時」⇒消防車^{しょうぼうしゃ}がくる。
→火^ひを消^けす。

「救急の時」⇒救急車^{きゅうきゅうしゃ}がくる。
→病^{びょう}気^きの人^{ひと}やけがをした人^{ひと}を
病^{びょう}院^{いん}につれていく。



- 2 きちんと住所^{じゅうしょ}を言いましょう。

たて物^{もの}の外^{そと}にいるときは、目^めひょう物^{ぶつ}になる店^{みせ}や公^{こう}園^{えん}、交^{こう}差^さ点^{てん}の名^な前^{まえ}など^いを言^いいます。

- 3 「〇階^{かい}建^たてのビルの△階^{かい}が火事^{かじ}です。」など、何^{なに}がどうしたのか(どうなのか)をわかりや
すく言^いいましょう。

- 4 電話^{でんわ}をかけたときは、名^な前^{まえ}や電話^{でんわ}番^{ばん}号^{ごう}を聞^きかれます。

「私^{わたし}の名^な前^{まえ}は〇〇です。電話^{でんわ}番^{ばん}号^{ごう}は△△—△△△△です。」とわかりやすく言^いいましょう。
(電話^{でんわ}番^{ばん}号^{ごう}は119番^{ばん}に電話^{でんわ}をかけ^{つか}ているとき^{ばんごう}に使^いっている番^{ばん}号^{ごう}を言^いいます。)

- 5 携^け帯^{たい}電話^{でんわ}で119番^{ばん}に電話^{でんわ}をかけたときは、携^け帯^{たい}電話^{でんわ}の電^{でん}げん^きを切^きらないようにしましう。
また、電話^{でんわ}をかけるときは、近^{ちか}くの安^{あん}全^{ぜん}な場^ば所^{しょ}にいましう。

火ひが小ちいさいときには

○火ひが小ちいさいときは、消火器しょうかきを使つかって自じ分ぶんで火ひを消けします。

【使つかい方かた】

- 1 安全ピンあんぜんピンをとります。
- 2 ホースほーすを火ひにおけます。
- 3 レバーればーを強つよくにぎると火ひを消けすここなながが出でます。



消火器しょうかき

☆ポイント

- ・ ひくいしせいで少すこしずつ火ひに近ちかづきます。



あなたは避難することができますか？

※避難…逃げること

火事が起こると、いつも通っている道や階段でもわからなくなることがあります。
どこに行っても、2カ所くらい逃げるための道を見つけましょう。

大きなたて物（デパートやホテル、映画館など）には、誘導灯があります。
どこにあるか見つけましょう。



誘導灯

誘導灯とは非常口（＝逃げるための
出入り口）がどこにあるかを知らせるためのもの。

自分の家でも、2カ所くらい逃げるための道を作り、暗いとき
でも逃げられるか、家族で話してみましょう。



火事が起きたときの避難の方ほう

- ・タオルやハンカチを口にあて、けむりをすわないようにする。
- ・できるだけひくいしせいで歩く。
- ・外に避難するときは、もえている部屋のドアを閉める。
- ・一回避難したらぜったいにもどらない。
- ・けむりで前が見えないときは、かべをさわりながら進む。
- ・下の階に行く（下の階から火が出ている場合は、一番上の階に逃げる）。
- ・エレベーターは使わない。
- ・火が出ているところから、遠い階段で避難する。